

氏名	山下良孝		
学位(専攻分野)	博士(医学)		
学位授与番号	博乙第2517号		
学位授与の日付	平成4年12月31日		
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第4条第2項該当)		
学位論文題目	男性不妊症に対する α_1 -blocker療法の基礎的, 臨床的検討		
論文審査委員	教授 工藤 尚文	教授 佐伯 清美	教授 清野 佳紀

学位論文内容の要旨

前立腺癌23例, 前立腺肥大症24例, 膀胱腫瘍6例, 慢性精巣上体炎3例, 精管異常による無精子症5例, 避妊希望1例より得られた男性副性器および精巣内各部の α_1 -receptorを測定した。Ligandとして ^3H -bunazosin, coldとしてphentolamineを用い, Scatchard plot analysisを用いて解析した。その結果, 男性副性器の α_1 -receptor濃度は精管, 前立腺において最も高く, 次に精巣上体に高く, 精巣では最も低値であった。

特発性男性不妊症22例(無精子症4例, 乏精子症18例)に対して, bunazosin 3mgを連日, 12週から24週間内服させ治療効果を判定した。治療開始後12週, 24週の精子濃度改善度27%, 40%, 運動率改善度27%, 67%, 全般改善度36%, 60%の良好な結果を得た。無精子症, 治療前FSH高値例には治療効果を認めなかった。副作用は2例(9.1%)に認められた。

以上より特発性男性不妊症に対する, α_1 -blocker療法は, 有用な治療法であるが, 治療前すでに高度の造精能障害を示すものには効果が無いことが判明した。またその作用部位としては, 精細管におけるより, むしろ精巣上体以後の精路に作用することが示唆された。

論文審査の結果の要旨

本研究は男性不妊症における α_1 -blocker療法の基礎的ならびに臨床的検討を行ったものであり, 男性副性器および精巣の α_1 -receptorを測定し, 不妊症患者に α_1 -blockerを投与することにより精子濃度および精子運動率の改善を認めるなど, 重要な知見を得たもの

として価値ある業績である。

よって、本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。